

「ぶらり諏訪塾」第2弾発刊

西街道編上手に取り地域散策

長野日報で連載中のまち歩きコラム「ぶらり諏訪塾」を担当する住民グループ「諏訪塾」が紙上で紹介した場所をまとめた書籍「ぶらり諏訪塾2〜西街道編上」を発刊した。昨春秋に続く第2弾は諏訪市豊田有賀から同市中洲神宮寺までのエリアで全27章。「広くは知られていないが、近隣住民の間ではよく知られた興味深い場所」を掲載した。

(野村知秀)

連載は2020年11月に開始、有賀の赤石社書籍第1弾「甲州街道編」から始まり、有賀峠、湖南北

真志野、南真志野、大熊、田辺、中洲下金子、神宮寺の「隠れスポット」を紹介。8人の

筆者が独自の目線で解説している。写真は略地図付き。

涌井みち子編集委員長は「多くの人からいただく声を励みに取材、編集を行い、第2弾を発行することができた。手に取っていただき、地域を巡る際の参考にしてもらえれば」と話している。

A5判60ページ、500部製作。

販売価格は500円(税込み)。

諏訪市観光案内所など既存の4カ所に加え、今号から「御食事処やまさや」(同市中洲)でも取り扱う。問い合わせは同編集委員会(電話070・83323・2107)へ。

書籍「ぶらり諏訪塾」を手にする諏訪塾の皆さん

